

# イベント開催時のチェックリスト

【第3版（令和4年7月版）】

## 開催概要

### 別紙開催要項

#### イベント名

第58回江差追分全国大会・第24回江差追分熟年・少年全国大会

#### 出演者・チーム等

出場者3日間 ⇒ 309名

(多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。)

#### 開催日時

### 別紙開催要項のとおり

(複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。)

#### 開催会場

江差町文化会館

#### 会場所在地

江差町字茂尻町71番地

#### 主催者

江差追分会・江差町

#### 主催者所在地

江差町字中歌町193番地3（江差追分会館内）

#### 主催者連絡先

(電話番号)  
0139-52-5555

(メールアドレス)

#### 収容率(上限)

100% (※)  
(大声なし)

人と人が触れ合わない  
程度の間隔

50% (※)  
(大声あり)

十分な人と人との間隔  
(できるだけ2m、最低1m)

#### 収容人数

361名(1日)

#### 参加人数

約1,000人(3日間)

#### その他特記事項

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

# 感染防止策チェックリスト

【第3版（令和4年7月版）】

## 基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

### ①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



#### 【大声なしの場合】

飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用（※1）や大声（※2）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※1）マスクの着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。  
なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。（例えば、スポーツイベント等で得点が入った時に一時的に歓声があがる場合は、「会話をほとんど行わない場合」には含まれない。）

（※2）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

#### 【大声ありの場合】

「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

### ②手洗、手指・施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。



主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

### ③換気の徹底



機械換気による常時換気又は窓開け換気。

### ④来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保<sup>2</sup>

# 感染防止策チェックリスト

【第3版（令和4年7月版）】

## 基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

### ⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
- 飲食中以外のマスク着用の推奨。
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
- 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。

### ⑥ 出演者等の感染対策

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。

### ⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の実施等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。

# 第58回江差追分全国大会・第24回江差追分熟年・少年全国大会

## 開催要項【制限開催】

### 1. 目的

昭和38年に第1回江差追分全国大会を開催以来、57年間途絶えることなく開催してきた江差追分全国大会も新型コロナウイルス感染症により一昨年、昨年と2年連続中止を余儀なくされた。

未だコロナ感染症は不透明ではあるが、江差追分をはじめとする民謡は、日本の伝統音楽として未来に引き継ぐ大切な文化である。

そのためにも、「ポストコロナ」を見据え3年ぶりに全国大会を開催し、いにしえより唄い継がれ、育まれた江差追分節を未来永劫の唄として守り・磨き続け、日本を代表する民謡としてその魅力を発信する大会とする。

また、少子高齢化の中、熟達者の追分に傾ける情熱を喚起しつつ、後継者育成に努めるため、第24回江差追分熟年全国大会、少年全国大会を並行して開催し、「江差追分」の文化的価値観の認識と理解を高め、後世に正しく保存伝承するとともに、更なる大会の向上を目指して広く内外に普及し、伝統芸術文化の振興に寄与することを目的とする。

### 2. 主催

江差追分会・江差町

### 3. 大会役員

#### (1) 顧問

内田尊之（北海道議会議員）・北海道教育委員会教育長・日本郵便(株)北海道支社長  
公益社団法人北海道観光振興機構会長・北海道旅客鉄道(株)取締役函館支社長  
公益社団法人日本観光振興協会北海道支部長・公益財団法人サントリー文化財団理事長  
公益財団法人日本民謡協会理事長・北海道新聞社代表取締役社長・朝日新聞北海道支社長  
毎日新聞社執行役員北海道支社長・読売新聞東京本社取締役北海道支社長  
NHK 函館放送局長・北海道放送(株)代表取締役社長・札幌テレビ放送(株)代表取締役社長  
北海道文化放送(株)代表取締役社長・(株)テレビ北海道代表取締役社長・日本航空(株)函館支店長  
全日本空輸(株)函館支店長・道南うみ街信用金庫理事長・江差追分会顧問

#### (2) 相談役

檜山振興局長・檜山教育局長・江差町議会議員・江差町教育委員会教育長・江差商工会長  
江差観光コンベンション協会会長・江差追分会相談役

#### (3) 名誉大会長

北海道知事

#### (4) 大会長

江差追分会会長 江差町長 照井 誉之介

#### (5) 副大会長

江差追分会副会長

## 4. 後 援

北海道開発局・北海道・北海道教育委員会・日本郵便(株)北海道支社  
公益財団法人サントリー文化財団・公益財団法人日本民謡協会  
公益社団法人北海道観光振興機構・公益社団法人日本観光振興協会北海道支部  
北海道新聞社・函館新聞社・朝日新聞社北海道支社・毎日新聞北海道支社  
読売新聞北海道支社・日本経済新聞社札幌支社・NHK 函館放送局・HBC 北海道放送  
STV 札幌テレビ放送・HTB 北海道テレビ・UHB 北海道文化放送・TVh テレビ北海道  
日本航空(株)函館支店・全日本空輸(株)函館支店・北海道旅客鉄道(株)函館支社・北海道民謡連盟

## 5. 協 力

NHK 函館放送局・江差町教育委員会・江差観光コンベンション協会・江差商工会  
江差町民芸団体連絡協議会

## 6. 開催日時

### <予選会>

- ・期 日 <1日目>令和4年9月16日(金) 8時30分~21時15分(予定)  
<2日目>令和4年9月17日(土) 8時30分~18時(予定)

- ・場 所 江差町文化会館 大ホール

=出場地区=

- ・予選会1日目16日(金) 出場地区 江差、函館、日胆、札幌 4地区
- ・予選会2日目17日(土) 出場地区 道北、道東、東北、関東、関西、北信越 6地区

### <決選会>

- ・期 日 令和4年9月18日(日) 8時30分~20時20分

## 7. 会 場

予選会・決選会/江差町文化会館(江差町字茂尻町71 電話 0139-52-5115)

## 8. 大会要領

### (1) 出場資格

- ・江差追分会会員とし、各地区選抜大会通過者及び推薦者

### (2) 年齢区分【

- ①一般大会/令和4年1月1日現在で満69歳以下の会員。但し、70歳以上及び少年大会優勝者で希望する場合は、地区選抜大会を通過した会員に限る。
- ②熟年大会/令和4年1月1日現在で満70歳以上の会員
- ③少年大会/中学校3学年以下の学年に在学する会員

### (3) 推薦者

- ・各地区の登録支部数の1/3とし、その推薦内容については当該地区運営協議会に一任。

**※ただし、制限開催のため推薦枠は選抜者(熟年、一般)の内数以内とする。**

**(制限開催時の推薦枠は内数のため活用は地区の判断で決定)**

#### (4) 出場人員

##### ①予選会

**270名（一般・熟年）**

=内 訳=

・一般選抜 ⇒ 153名 ・熟年選抜 ⇒ 118名

##### ②決選会（一般・熟年・少年）113名【通常開催、制限開催共通】

=内 訳=

・一般 50名（予選会出場者の上位50名）

・熟年 25名（予選会出場者の上位25名）

・少年 38名

#### (5) 審査対象歌詞

・江差追分（本唄）とし、歌詞は自由とする。

#### (6) 入賞者

①一般大会及び熟年大会の決選会出場者中、上位10名を入賞者とし、賞を贈呈する。

②入賞者各賞については、大会長賞の外、各後援団体並びに町内外の各種団体を予定する。

※熟年大会については、上位10名の他、特別賞を贈呈する。

※少年大会については、上位10名と審査員奨励賞5名に賞等を贈呈する。

#### (7) 大会審査

①大会の審査は主催者において行い、予選会・決選会ともに別室とする。

②大会審査員は、江差追分会上席師匠、正師匠、師匠の中から会長が委嘱する。

③大会審査員は、審査室長、審査員長、副審査員長、審査員で構成する。

#### (8) 大会伴奏者

・予選会及び決選会時に必要な伴奏者は主催者が委嘱する。

#### (9) 出場料

・一般、熟年1人 3,000円、少年大会1人 2,000円

### 9. 追分関係物故者追悼法要及び佐之市報告法要

・期 日／令和4年9月15日（木）15:00～16:30

・場 所／東本願寺江差別院

#### 【お問合せ先】

第58回江差追分全国大会・第24回江差追分熟年・少年全国大会事務局

江差追分会事務局

〒043-0034

北海道檜山郡江差町字中歌町193-3 江差追分会館

TEL:0139-52-5555 FAX:0139-52-5544